

【御案内】

平成30年度岡山県総合教育センター 教育研究発表大会

教育研究発表大会では、当総合教育センターの教育研究の成果や学校を支援する取組等を紹介し、情報の共有や研究協議を通して、岡山県の教育の充実を図りたいと考えています。

記

日時 平成31年2月16日(土) 10:30～15:10

会場 岡山県総合教育センター

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7545-11
TEL (0866) 56-9101[代表] FAX (0866) 56-9121[代表]
Webページ <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>



日程

10:00	受付開始
10:30	開会行事
10:55	所員発表Ⅰ ・学校の課題解決に向けた校内チーム制の効果的な進め方に関する研究 (教育経営部、最終報告) ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた主体的・対話的で深い学びのある授業づくり (教科教育部、中間報告) ・知的障害教育における主体的・対話的で深い学びに関する研究 (特別支援教育部、最終報告)
12:05	昼食・展示鑑賞・模擬体験 ・研修講座及び学校支援等の展示 (センター事業紹介) ・教育資料等の展示 ・国や岡山県の教育施策等に関する展示 ・考える授業の充実 (情報活用能力育成の視点からの授業づくり) 等
13:05	長期研修員発表 ・目的や場面、状況等を設定した外国語活動・外国語科の授業づくり (小学校) ・生徒指導の三機能を意識した授業の考察と推進ツールの開発 (中学校) ・高等学校におけるカリキュラム・マネジメントの促進方法の研究 (高等学校)
14:00	所員発表Ⅱ ・探究するために必要な資質・能力を育む理科の授業づくり (教科教育部、最終報告) ・不登校やいじめ、暴力行為等を生まないための学校づくりに関わる校内研修パッケージの開発Ⅲ (生徒指導部、中間報告) ・小学校プログラミング教育に関する研究～プログラミング的思考を育成する授業づくり～ (情報教育部、中間報告)
15:10	閉会

※研究テーマは仮題です。変更する可能性があります。

■ 所員発表 I (分科会発表)

10:55 ~ 12:05

○人材育成に関わる研究 (教育経営部 指導主事 秋田浩志)

申込み番号→

1

「学校の課題解決に向けた校内チーム制の効果的な進め方に関する研究」

今、学校では業務を個別に行う組織から、チームとして取り組む組織への変容へと導く仕組みづくりが求められています。その一つとして活用できるのが、校内チーム制であると考えています。

この校内チーム制は、関わり合いを可能にする学校組織の中で段階的に成長していくと考えました。今年度の発表の中で、学校の課題解決や組織の変容につながるプロセス等について、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の実践事例を載せたブックレットをもとに紹介し、提案します。

キーワード 校内チーム制、「関わり合い」、学校の課題解決、組織の変容

○児童生徒の学力向上 (教科教育部 指導主事 小倉馨)

申込み番号→

2

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた主体的・対話的で深い学びのある授業づくり」

新学習指導要領では、子供たちの資質・能力を育成するために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。

今年度は、小・中学校全教科等を対象に、子供の学びの姿に焦点を当てて授業実践を行った事例を基に「これまでの授業と何が違うのか」「学びの質を高めるためにはどうすればよいか」などについてその具体を提案します。

キーワード 主体的・対話的で深い学び、子供の学びの姿、学びの質を高める授業づくり

○特別支援教育の推進 (特別支援教育部 指導主事 仲哲宏)

申込み番号→

3

「知的障害教育における主体的・対話的で深い学びに関する研究」

昨年度は、新学習指導要領の趣旨や知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえて、知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点を考察しました。

今年度は、「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づいて授業改善を行った研究協力校、研究協力委員の実践事例について紹介します。また、これらの実践事例をまとめたブックレットを基に、知的障害教育における深い学びに至るためのポイント等について提案します。

キーワード 育成を目指す資質・能力、知的障害教育、主体的・対話的で深い学び

■ 昼食・展示鑑賞・模擬体験

12:05 ~ 13:05

メディアセンター展示・模擬体験

【展示】

○教育資料の展示

- ・教科書
- ・教育に関する専門書
- ・教育用雑誌
- ・研究紀要
- ・DVD教材
- ・教育用ソフトウェア
- ・指導者用デジタル教科書
- など

【模擬体験】(申込み不要・先着20名) 12:35~13:00

○考える授業の充実(情報活用能力育成の視点からの授業づくり)

新学習指導要領において言語能力や課題発見・解決能力と同様に学習基盤として位置付けられた情報活用能力。その育成の手立てとして思考ツールを活用した授業づくりについて紹介します。思考ツールを活用することで「考える力」を育成し、児童生徒の思考を可視化することができます。

研修講座及び学校支援等の展示

- ・「研修講座」「学校支援」等の事業の概要紹介



国や岡山県の教育施策等に関する展示

- ・学力向上に係る各種資料の展示
- ・いじめ防止ポスター及び標語入賞作品の紹介
- ・教職大学院政策派遣者の研究成果
- ・古代吉備文化財センターの学習支援事業の紹介
- など

■ 長期研修員発表（分科会発表）

13:05 ～ 13:45

<p>○小学校（浅口市立六条院小学校 教諭 蜂谷智史） 「目的や場面、状況等を設定した外国語活動・外国語科の授業づくり」 2020年度より中学年では外国語活動、高学年では外国語科が完全実施されます。そして、新学習指導要領では、コミュニケーションの目的や場面、状況等を設定した言語活動が求められています。本発表では、言語活動を設定する際のポイントやその有効性について紹介します。 キーワード 小学校外国語活動・外国語科、言語活動、目的、場面、状況</p>	申込み番号→ 11
<p>○中学校（美咲町立柵原中学校 教諭 末澤元浩） 「生徒指導の三機能を意識した授業の考察と推進ツールの開発」 児童生徒の自己指導能力をよりよく育むために、授業（学習指導）における生徒指導の在り方について研究しました。生徒指導の三機能を意識した授業を組織的に推進するために開発した校内研修用教材を紹介します。 キーワード 自己指導能力、生徒指導の三機能、授業における生徒指導、校内研修</p>	申込み番号→ 12
<p>○高等学校（岡山県立井原高等学校 教諭 山本宏行） 「高等学校におけるカリキュラム・マネジメントの促進方法の研究」 教育活動の質を向上させるために実現させたいカリキュラム・マネジメントを、高等学校で促進させる方法について研究しました。カリキュラム・マネジメントのはじめの一歩として、所属校で実践した体制づくりとともに、校内研修における工夫や成果等を紹介します。 キーワード カリキュラム・マネジメント、つなぐ、協働性、組織文化</p>	申込み番号→ 13

■ 所員発表Ⅱ（分科会発表）

14:00 ～ 15:00

<p>○児童生徒の学力向上（教科教育部 指導主事 伊藤昌訓） 「探究するために必要な資質・能力を育む理科の授業づくり」 理科の授業において、科学的に探究する学習を充実させていくことが求められています。では、具体的にどのように実践をしていけば良いのでしょうか。 今年度の発表では、理科の授業づくりにおいて、探究的な学習を単元に効果的に位置付け、探究するために必要な資質・能力の育成を図っていくためのポイントと実践事例の紹介をします。 子供たちが探究する理科の授業づくりについて一緒に考えてみませんか。 キーワード 中学校・高等学校の理科の授業づくり、探究するために必要な資質・能力の育成、探究的な学習</p>	申込み番号→ 21
<p>○問題行動等への対応（生徒指導部 指導主事 小田哲也） 「不登校やいじめ、暴力行為等を生まないための学校づくりに 関わる校内研修パッケージの開発Ⅲ」 生徒指導部では、平成30、31年度の2年をかけ、生徒指導についての校内研修を容易に実施できる校内研修パッケージを2つ開発します。開発するパッケージのテーマは「授業における生徒指導の進め方」と「保護者との関係づくり」です。今年度は、研究の開発経過を説明します。 キーワード 生徒指導、校内研修、生徒指導の三機能、保護者との関係づくり</p>	申込み番号→ 22
<p>○児童生徒の学力向上（情報教育部 指導主事 浅野雄一） 「小学校プログラミング教育に関する研究 ～プログラミング的思考を育成する授業づくり～」 2020年度から小学校プログラミング教育が必修化されます。本研究では、小学校プログラミング教育のねらいの中核となる「プログラミング的思考の育成」を目指して、県内9校で授業実践を行いました。今年度は、実践事例の紹介を中心に、成果と課題を報告します。プログラミング教材の体験コーナーも設けます。 キーワード プログラミング教育、プログラミング的思考、試行錯誤、新学習指導要領</p>	申込み番号→ 23

※研究テーマは仮題です。変更する可能性があります。

◇ 交通の御案内

1 自家用車等

- ・山陽自動車道 岡山 I C から 約 35 分
- ・山陽自動車道 岡山総社 I C から 約 35 分
- ・岡山自動車道 賀陽 I C から 約 15 分
- ・岡山空港から 約 25 分

2 チャーターバス

(J R 岡山駅運動公園口 (西口) からの無料直行便)

乗車場所等はセンターのWebページで御確認ください。御利用の際は、「行き」「帰り」とも必ず御乗車ください。途中下車はできません。

行き	J R 岡山駅運動公園口 (西口) 発車時刻	9:00
帰り	岡山県総合教育センター 発車時刻	15:30

※行き、帰りとも、一便のみの運行です。

3 公共バス路線

- ・J R 岡山駅から (中鉄バス)
 - ・J R 備中高梁駅から (備北バス)
- ※便数が少ないので時間をよく確認の上、御利用ください。



◇ 参加申込み

- 申込み方法
 - 岡山県電子申請サービスの場合
岡山県総合教育センターWebページ (<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>) から「平成 30 年度教育研究発表大会」に移動し、「岡山県電子申請サービスによる申込み」を選択してください。専用ページに移動後、「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックし、画面下の「同意する」をクリックすると電子申請の画面が開きますので、画面の指示に従って申込みを行ってください。
 - F A X の場合
参加申込書に必要事項を記入の上、岡山県総合教育センター [FAX (0866) 56-9121] に送信してください。
 - 郵送の場合
参加申込書に必要事項を記入の上、次の宛先へ郵送してください。
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 7545-11
岡山県総合教育センター教育研究発表大会係
- 申込み期限 平成 31 年 2 月 6 日 (水)
- その他
 - 全ての発表は分科会形式で行います。分科会への参加を希望される場合は、申込みの際に参加希望の分科会番号 (1 ~ 3, 11 ~ 13, 21 ~ 23) を御記入ください。分科会への参加を希望されない場合は、その時間、自由に展示を御覧いただけます。
 - 弁当の販売はありませんので、昼食は各自で御用意ください。
 - チャーターバス (J R 岡山駅運動公園口 (西口) からの無料直行便) の御利用を希望される場合は、申込みの際に御記入ください。

◇ 問い合わせ先

岡山県総合教育センター 教育研究発表大会係・赤木 TEL (0866) 56 - 9101 (代表)